

令和7年度 都城市立高崎中学校 学校評価 1/2

				学校運営協議会委員から
生徒アンケート		保護者アンケート	学校の取組と改善点	
知 育	<ul style="list-style-type: none"> 授業へ臨む意欲や家庭学習の実施は比較的高い評価を得ているが、授業理解度との間にはギャップが見られる。 進路意識は、3年生が最も高く、進路選択が近づくにつれて意識が高まっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の家庭学習の実施率が高いが、肯定的でない回答もあり、学習習慣の定着には家庭によりばらつきがある。 学校の教育支援への評価は肯定的な評価が多い。一方で、「分からぬ」という回答も目立ち、保護者が学校での具体的な授業改善や学習支援の努力を把握できていない傾向が強い。 進路指導やキャリア教育への関心が高い。 	<ul style="list-style-type: none"> 「主体的・対話的で深い学び」の実現のため、一人1研究授業を実施し、授業改善を図った。 定期テストを年間3回、通知表配付を年間2回にしたことで、十分な指導と的確な評価ができ、生徒への指導に反映することができた。 校内テストにおいて採点支援システムを導入することで、生徒は自己分析が容易になった。 タブレットやICTの効果的な活用を図っている。 忘れ物をする生徒が固定化されている。帰りの会でメモしているかのチェックを徹底する。 	<ul style="list-style-type: none"> 時代の流れとしてタブレットやICTは重要と考えるが、基本である人ととのコミュニケーション能力や協調性を育むことも重要と考える。 タブレットを使っての授業は良いと思うが、授業中にしっかり使っているかが気になった。先生1人では対応が難しいと感じた。 授業参観のたびに子どもたちが真面目に授業に取り組んでいるのが分かった。学習の理解度を上げるために、先生方が機器等も活用しながら取り組んでいるのも伝わった。 先生方の「一人1研究授業」の取組に接し、生徒もさらに学ぶ意欲を高めていると考える。 教室が一体となって、授業（学び）に集中することで、生徒の学力も確かなものになると思う。 アンケートの結果を見ると、生徒は授業理解に不安を持っているようだ。先生方には、生徒に寄り添った指導をお願いしたい。 基礎的・基本的な学習内容については概ね理解が進んでおり、家庭学習の定着も見られる点は大きな成果だと感じた。一方、特に1年生において授業理解にやや課題が見られることから、小学校から中学校への学習環境の変化に対応できるよう、入学初期の学習支援や学習方法の指導をさらに充実させることが重要だと考える。 各学年の保護者と生徒のアンケート結果を比べてみると、生徒の評価の方がシビアになっている。生徒と保護者がもっと話をする必要があるのではないか。
	生徒評価平均 3.255	保護者評価平均 3.43	教師自己評価平均 3.18	
徳 育	<ul style="list-style-type: none"> 友達との関係は、全体平均が非常に高い。「互いに注意したり励ましたりしてくれる友達」のいる生徒の割合が高く、自分でも「優しく声をかけたり助けたりしている」と思っている生徒が多い。「毎日、楽しく学校に登校している」の評価高い。 家でも「挨拶や正しい言葉遣いができる」と回答している生徒が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の学校生活における満足度と友人関係が非常に良好である。 「毎日楽しく学校に登校している」「友達と仲良く過ごしている」の間に肯定的な評価が全体の約92%と圧倒的多数を占めています。 学校の規範意識・仲間作り支援については、概ね肯定的な評価が出てているが、「分からぬ」という回答もある。 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒会活動や学校行事等において、生徒の自己肯定感や達成感、人間関係の醸成を図っている。 生徒会の取組で、朝の会であいさつ・返事の練習やタスキ点検に全校で取り組んだ。 生徒の学校生活アンケートを月1回、教育相談を学期1回実施し、問題の早期発見と早期解決を図っている。 いじめ・不登校対策委員会と全職員による生徒理解を毎週実施し、全職員で生徒を支援する体制を図っている。 清掃終了時に反省会を設定したことで、メリハリが付けられるようになった。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校生活を楽しく過ごせていることや、友人関係が良好である点は、日頃からの丁寧な関わりや温かい指導の成果だと感じた。あいさつや言葉遣い、困ったときに周囲へ相談する力については、成長の途中にある部分も見受けられるが、学校と家庭が連携しながら、少しづつ身についていくことを期待している。今後も安心して過ごせる環境づくりを大切にしていただきたい。 生徒会が自動的に「あいさつ・返事」等に取り組み、自己評価を加えながら生活を見つめ直していることは、眞の道徳的実践につながる大切なステップだと考える。このことが、道徳の授業を通して道徳的実践力のさらなる深化につながると考える。 1年生の「あいさつや正しい言葉使い」の面では保護者と生徒の評価に0.4の差があり、生徒の方がシビアな評価となっている。 来校のたびに子どもたちがよく挨拶してくれるのに感心している。授業や体育祭等の行事にも一生懸命取り組んでいるのが伝わった。多感な時期にも関わらず、いじめ等なく楽しく学校生活を送っているということで、先生方のご配慮のおかげだと思う。 大きな声での挨拶が出来ていると思う。現在は、子供一人ひとりがスマホを持つ時代になっているので、ネットの使い方についても教育が必要（ネットのいじめ問題対策） 国内でSNSを使った「いじめ動画」が拡散する等、深刻な状況にあるが、「いじめ不登校対策委員会」が毎週実施されていることに安心感を覚える。生徒のどんな小さな変化も見逃さない先生方の取組に感謝する。 「困った時の相談相手がない」又は「友達や先生、家人」以外という生徒にはサポートも必要だ。
	生徒評価平均 3.5	保護者評価平均 3.55	教師自己評価平均 3.52	

令和7年度 都城市立高崎中学校 学校評価 2 / 2

	生徒アンケート	保護者アンケート	学校の取組と改善点	学校運営協議会委員から
体育	<ul style="list-style-type: none"> 「病気の予防に努め、虫歯の治療など健康な体づくりのために努力している」の評価が高く、健康への取り組む意識が高い。 「早寝・早起き・朝ご飯」を心がけている生徒の割合が高く、規則正しい生活を心がけている生徒が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> 全体的に肯定的な評価が多いが、「早寝・早起き・朝ごはん」の習慣や運動習慣の定着において、改善の余地がある生徒が一定数いる。 学校の健康支援に対する評価は肯定的だが、「分からない」という回答が若干数あった。 	<ul style="list-style-type: none"> 毎月「ほけん便り」を発行して、生徒及び保護者への健康意識を啓発している。 夏場には毎日熱中症係数を図り、給食時の放送で知らせ、生徒の熱中症予防を行った。 健康診断の結果を保護者へ知らせ、治療を促した。 学校医を活用し、健康診断だけでなく健康教育（薬物乱用防止教室・歯科指導）も実施した。 体育大会や駅伝持久走大会で、懸命に競技するだけでなく、応援によって学級や学校全体のまとまりができた。 給食の残菜がほとんどない。 	<ul style="list-style-type: none"> 健康や基本的な生活習慣の定着等への意識も高いとのこと、先生方のご指導のおかげだと思う。 健康教育の実施は、良いと思った。 体力づくりや健康に関する取組については、全体として安定した評価が得られており、日頃からの継続した指導の成果が表れていると感じた。生活習慣や運動習慣については個人差も見られるため、今後も一人ひとりに寄り添いながら、無理なく継続できる支援が大切になると思う。 体育大会を1学期に開催することで、新入生の意識も高まり、中学校生活への対応力も高まり、また、体力向上にも大いに役立つと考える。 「早寝・早起き・朝ご飯」の習慣については、3年生の生徒と保護者では0.54の差が出ている。生徒と保護者の認識に開きがあるようだ。 限られた人数ながら、部活動にも懸命に取り組み、大きな成果を挙げていることは、町民にも勇気を与えてくれている。 グラウンドから野球部の元気な声が聞こえてくる。運動部だけに限らず、文化部も含め、礼儀やチームワーク等を学んでほしい。
	生徒評価平均 3.43	保護者評価平均 3.38	教師自己評価平均 3.32	
充実・連携	<ul style="list-style-type: none"> 教師が「生徒の意見をよく聞いてくれる」「失敗時に注意し励ましてくれる」ことについて、非常に高い評価を得ている。 地域活動参加については学年が上がるにつれて参加意識が向上している。 「学校からの通信や便り等をきちんと保護者に渡している」の回答は全体平均3.57で、概ね良好である。 	<ul style="list-style-type: none"> 「地域の方に場に応じた気持ちの良いあいさつをしたり、丁寧な言葉遣いで話したりしている」に肯定的な評価が非常に高い。 「学校で、当たり前のことが当たり前でできる指導がなされている」についても、高い肯定的評価が得られています。 「学校は、家庭や地域と連携しながら教育活動を行っている」肯定的評価が約84%だった。 どの項目も概ね良好だが、「分からない」の回答も若干数あった。 	<ul style="list-style-type: none"> ボランティアの参加人数が多いが、参加生徒に偏りがある。今後、これまでに参加していない生徒へ参加を促していく。 行事や生徒活動のあとにホームページを更新し、学校の様子を発信している。今後も引き続き更新していく。 保護者メールを活用し、行事の案内やほけん便りを発送した。今後、さらに保護者メールを活用する機会を増やし、確実に保護者へ連絡が届くようにしていきたい。 ICTを利用してアンケートを実施することで、集計や分析が容易になった。 	<ul style="list-style-type: none"> 先生方への子どもたちの信頼度が高いとのこと、あらゆる指導の前提となることで素晴らしい。先生方のご努力の成果だと思う。 「地域の方への気持ちの良い挨拶等」は、3年生の保護者の平均4という数字は特筆すべきことだ。 保護者メールは、防犯メールでもあり、万が一の時のためにも是非充実させてもらえるとありがたい。 ホームページの活用また、ICTを利用しての連絡は、非常に良い。 学校の情報伝達について、保護者にも確認してみたい。 町内の様々な行事にボランティアとして参加してくれる中学生の姿こそ「社会に開かれた学校」の象徴であり、町民の宝だ。 地域行事への参加生徒に偏りがあることは非常に残念だ。 学校における様々な取組が工夫され、子どもたちの成長につながっていると感じた。今後は、学校だけでなく、家庭や地域と連携しながら、それぞれの立場から子どもたちを支えていくことがより大切になると思う。情報発信や関わりの機会を大切にしながら、地域全体で子どもたちの学びや育ちを見守っていける体制づくりに期待している。
	生徒評価平均 3.41	保護者評価平均 3.6	教師自己評価平均 3.2	